

# 第4期第4回札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会 概要

日時：平成21年11月25日（水）

19:00～21:00

場所：札幌エルプラザ2階会議室1・2

## 1. 開会

## 2. 事務局より

札幌市市民活動サポートセンターは「市民活動団体との相互理解」「拠点施設としての市民認知の確立」「地域との連携」の3つを重点目標とし運営している。今回は特に「拠点施設としての市民認知の確立」の中で市民活動サポートセンターが情報発信拠点としての機能をより一層高めて行くために、専門的な分野または専門分野以外にもご自身の経験から市民活動に関するご意見をいただき、事業運営に反映させていただく。

## 3. 議事

### (1) 平成21年度事業実施状況及び統計報告

平成21年6月からこれまでの市民活動サポートセンターの運営状況及び事業実施状況、施設利用状況、活動支援施設などの相互利用状況、印刷機等支援機器利用状況、団体登録状況、市民活動相談状況の統計報告を行う。

<意見、要望の要旨及び回答>

Q1. 「メールマガジン」の現在の登録件数についてどのように考えているか。

A1. 「メールマガジン」登録件数は増加傾向にある。「配信停止希望」もある中での増加である。

Q2. 「市民企画講座」における活動支援施設の活用について、内容によって「食材研究室」など市民活動登録のみの活動団体への貸し出し範囲の拡大をしてはどうか。

A2. 「食材研究室」（活動支援施設）については札幌市消費者センターの管理する施設であるが、利用拡大については今後の検討課題としていく。

Q3. 「打ち合わせコーナー」の利用について、学生などの若年層の利用が増加傾向にあるが、市民活動団体としての活動をしているか。

A3. 「打ち合わせコーナー」の学生を中心とした若年層の利用については適正な利用内容であることを確認している。

Q4. 「市民企画講座」昨年度に引き続き参加している団体は、どのようなスキルアップや課題設定を行っているか。

A4. 昨年度に引き続き「市民企画講座」に参加している団体のスキルアップ等について、団体ごとに課題設定は違うが確実に昨年度の経験をもとに事業推進をしている。

Q 5 . 「市民企画講座」で参加人数の少ないものについて、市民ニーズ分析や内容に対する助言などはどのように行っているか。

A 5 . 「市民企画講座」で参加人数の少ない団体などへのアプローチについては、積極的に進めているが、団体として伝えたい「強い思い」もあり現在の状況に至っている。

Q 6 . 「市民企画講座」でスタッフ数が未確認の団体があるのはなぜか。

A 6 . 「市民企画講座」でスタッフ数（当日）については、運営ボランティアのいる団体もあり「スタッフ」という区分では納まりきらないケースがある。

Q 7 . 「市民企画講座」の広報先の支援状況について、市民活動サポートセンターはよく支援を行っていると思うが、実施団体が独自に広報を進めるための助言は行っているか。

A 7 . 「市民企画講座」については、内容に合わせ効果的な広報先を団体と協議している。その中で団体が独自に広報を行うケースも少なくない。

Q 8 . 「しみさぼ調査隊」「しみさぼ出張所」は一本化できないか。

また、今年度内容も工夫し市内全区で実施している「しみさぼ調査隊」の集計結果を調査地域に返す工夫を行ってはどうか。

A 8 . 「しみさぼ調査隊」「しみさぼ出張所」の1本化及び「しみさぼ調査隊」の集計結果の公開について効果的な方法を今後検討していく。

Q 9 . 「情報誌」についてリニューアルされて非常に好評であるが、今後より多くの人に直接届けるための配布方法を考えてはどうか。

Q 9 . 「情報誌」の配布について、より広く多くの方に手に取っていただけるような方法、配布先を今後検討していく。

## ( 2 ) 検討課題「団体活動支援に関する業務（情報センターとの連携）について」

「札幌エルプラザ情報センター」の概要及び事業実施状況の説明の後、現在の市民活動サポートセンターにおける情報センターとの連携業務の実施状況について説明を行った。今後、市民活動サポートセンター利用者は効果的に情報センターを利用するための方策についてご意見をいただいた。

### <意見の要旨>

- ・登録団体数の多い分野の蔵書を増やしてはどうか。
- ・購入図書のリクエストをとってみたいかどうか。【実施済み】
- ・文献について検証しながら活動できるようなスペースを設けると利用しやすいのでは。
- ・市立図書館ホームページから情報センターホームページへリンクすることはできないか。
- ・市民活動関連分の図書を市民活動サポートセンターに配置してはどうか。

- ・主催事業の際、関連図書を紹介を行うと良いのではないだろうか。
- ・ブックトークなど、情報センター内での事業を増加してはどうか。
- ・エルプラザ館内へ配送サービスを行うことはできるか。
- ・市立図書館との相互貸借体制をとることはできないだろうか。
- ・団体貸出しを行い、まとまった数の貸し出しを可能にすることはできないだろうか。
- ・団体作成の冊子など成果物を置いてはどうか。
- ・NPO活動は新鮮な情報を活用することがおおいため蔵書内容をしぼり、雑誌、情報誌などタイムリーな内容の蔵書を増やしてはどうか。
- ・「市民」「男女」「環境」「消費」4施設が連携した広報事業を行ってみてはどうか。

<今後に向けて>

今回いただいたご意見などを参考に、情報センターとの連携事業を立案していく。

#### 4. 閉会